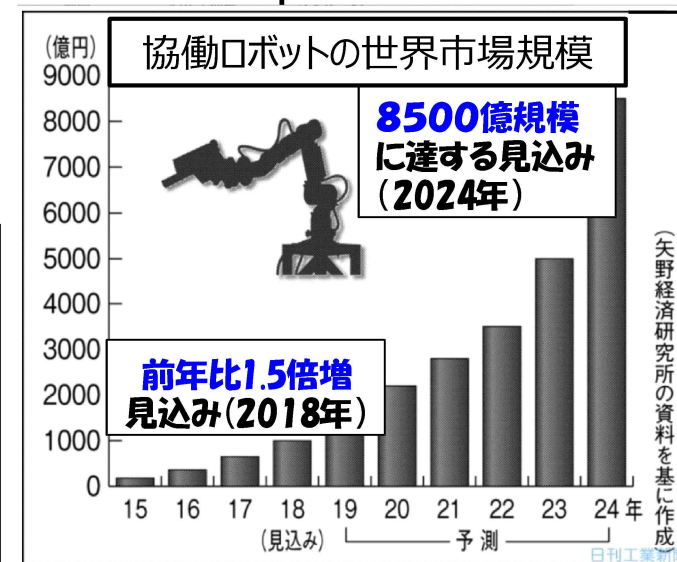


## 協調ロボットと産業用ロボットの違いは？

👉 産業ロボットの中で、人と共働作業を前提としたのが「協調ロボット」



|      | 産業用ロボット                                                                           | 協調ロボット                                                                              |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|      |  |  |
| 安全柵  | 必要                                                                                | 不要<br>※リスクアセスメントに基づき柵無しでの稼働可否の判断が必要です                                               |
| スペース | 大                                                                                 | 小                                                                                   |
| 移設   | ×                                                                                 | ○                                                                                   |
| 変種変量 | ×                                                                                 | ○                                                                                   |
| 単純作業 | ○                                                                                 | ○                                                                                   |

～80W規制の緩和～

「ロボットメーカー、ユーザーが国際標準化機構 (ISO) の定める産業用ロボットの規格に準じた措置を講じる」等の条件を満たせば、80W以上の産業用ロボットでも人と同じ作業スペースで、働くことが可能となりました。これにより、従来は柵の設置やスペースの確保などでロボットの活用には掛かっていた大きな手間や負担、コストなどを軽減でき、より省スペースでフレキシブルな生産ラインを実現できるようになりました。



「協働ロボット」と「協調ロボット」は違うの？



「協働ロボット」と「協調ロボット」は同じです。オムロンでは、人と協調を強調するために「協調ロボット」と呼んでいます。

# オムロンの協調ロボット ココがイイ！

①操作性が良く、扱いやすい  
ダイレクトティーチング



カメラ部が持ち手になり  
両手でのティーチング操作ができます

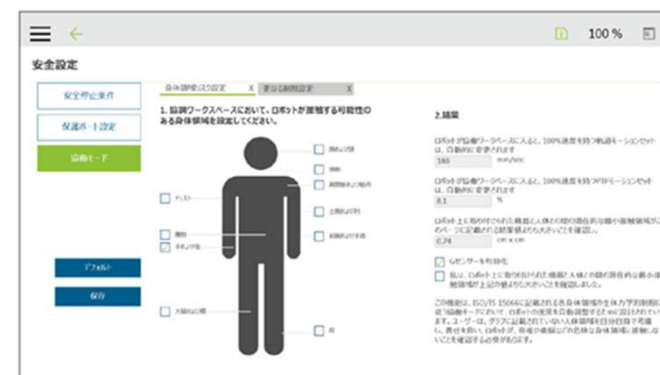
②簡単、視認性が良い  
フロー形式プログラミング



④カメラ一体型のため  
画像認識動作・設定が簡単



③ISO/TS15066準拠の  
安全設定ツール



⑤移設を容易にする  
ランドマークとQRコード



キャリブレーション、  
ティーチング等の  
再設定は不要！